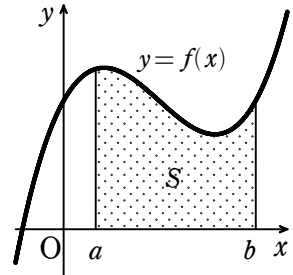


□定積分と不等式

関数 $f(x)$ が区間 $[a, b]$ で連続であり、かつ $f(x) \geq 0$ であるとき、 $y=f(x)$ のグラフと x 軸および2直線 $x=a, x=b$ で囲まれた部分の面積 S について考える。



$[a, b]$ で常に $f(x)=0$ ならば $S=0$, $[a, b]$ で $f(x)>0$ となる x があるならば $S>0$ である。よって、次のことが成り立つ。

区間 $[a, b]$ でつねに $f(x) \geq 0$ ならば

$$\int_a^b f(x) dx \geq 0$$

等号は、常に $f(x)=0$ のときに成り立つ。

【補足別解】 $F(x)=\int_a^x f(t) dt$ とおくと

$F(a)=0$ また $F'(x)=f(x) \geq 0$ であり恒等的に $f(x)=0$ でないから $[a, b]$ において $F'(x)=f(x)>0$ となる区間があるので $F(b)>F(a)=0$

したがって $\int_a^b f(x) dx = F(b) - F(a) > 0$

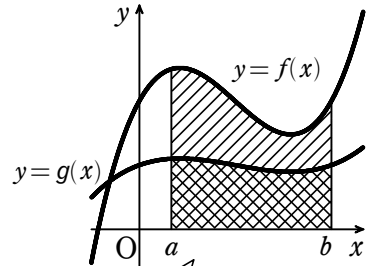
さらに次のことが成り立つ。

定積分と不等式

区間 $[a, b]$ で連続な関数 $f(x), g(x)$ について

$$f(x) \geq g(x) \text{ ならば } \int_a^b f(x) dx \geq \int_a^b g(x) dx$$

等号は、常に $f(x)=g(x)$ のときに成り立つ。



常に上下が変わらないなら面積の大小も確定する

例題 1 1) 次のことを示せ。

(1) $x \geq 0$ のとき $\frac{1}{x^2+x+1} \geq \frac{1}{(x+1)^2}$

(2) $\int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} > \frac{1}{2}$

(1)がないと、 $\frac{1}{x^2+x+1} > g(x)$, $\int_0^1 g(x) dx = \frac{1}{2}$ を

同時に満たすような関数 $g(x)$ を探さなければいけなく大変に

【解答】

(1) $x \geq 0$ のとき $x^2+x+1 \leq (x^2+x+1) + x$ +x xの分大きい

すなわち $x^2+x+1 \leq (x+1)^2$

両辺は正であるから、逆数をとって

$$\frac{1}{x^2+x+1} \geq \frac{1}{(x+1)^2}$$

【深める】 常には $\frac{1}{x^2+x+1} = \frac{1}{(x+1)^2}$ で

ないことを確かめた理由を説明してみよう。

(2) (1)の不等式では、常には $\frac{1}{x^2+x+1} = \frac{1}{(x+1)^2}$ でないから 等号は成立しない

$\int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} > \int_0^1 \frac{dx}{(x+1)^2}$ 常に同じではないので 面積 ($\int_0^1 dx$ をつけた式)の大小が決まる

右辺は $\int_0^1 \frac{dx}{(x+1)^2} = \int_0^1 (x+1)^{-2} dx = \left[-(x+1)^{-1} \right]_0^1 = -\frac{1}{2} + 1 = \frac{1}{2}$

よって $\int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} > \frac{1}{2}$

【別解】 分母分子に4を掛けて $4(x^2+x+1) = (2x+1)^2 + 3$

として $2x+1 = \sqrt{3} \tan \theta$ とおくと $\frac{\sqrt{3}}{9} \pi \approx 0.6046$ となる

積分法とその応用【定積分と不等式】 p.165~167

問) $x \geq 0$ のとき, $\frac{1}{(x+1)^2} \leq \frac{1}{x^2+x+1} \leq \frac{1}{x+1}$ であることを示し,

これを用いて不等式 $\frac{1}{2} < \int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} < \log 2$ を証明せよ。

解答

x の分大きい

x^2 の分大きい

$x \geq 0$ であるから $x^2 + 2x + 1 \geq x^2 + x + 1 \geq x + 1$

すなわち $(x+1)^2 \geq x^2 + x + 1 \geq x + 1$

各辺が正なので
逆数にすると大小反転

各辺の逆数をとると $\frac{1}{(x+1)^2} \leq \frac{1}{x^2+x+1} \leq \frac{1}{x+1}$

が成り立つ。しかも, $0 < x < 1$ で等号は成り立たない。

等号は成立しない

よって $\int_0^1 \frac{dx}{(x+1)^2} < \int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} < \int_0^1 \frac{dx}{x+1}$

つねに大小関係が成り立つので
 $\int_0^1 dx$ をつけても 大小関係は変わらない

$$\left[-\frac{1}{x+1} \right]_0^1 < \int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} < \left[\log(x+1) \right]_0^1$$

$$\begin{aligned} & \int_0^1 (x+1)^{-2} dx \\ &= \left[-1 \cdot (x+1)^{-1} \cdot 1 \right]_0^1 \\ &= \left[-\frac{1}{x+1} \right]_0^1 \end{aligned}$$

ここで $\left[-\frac{1}{x+1} \right]_0^1 = -\frac{1}{2} - \left(-\frac{1}{1} \right) = -\frac{1}{2} + 1 = \frac{1}{2}$

$\left[\log(x+1) \right]_0^1 = \log 2 - \log 1 = \log 2$

ゆえに $\frac{1}{2} < \int_0^1 \frac{dx}{x^2+x+1} < \log 2$

積分法とその応用【定積分と不等式】 p.165~167

応用例題 7) 関数 $f(x) = \frac{1}{x}$ の定積分を利用して、次の不等式を証明せよ。

$$\log n > \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{n} > \log(n+1) \quad \text{ただし, } n \text{ は自然数}$$

考え方 自然数 k に対して, $k \leq x \leq k+1$ では $f(x) \geq f(k+1)$ である。

常には $f(x) = f(k+1)$ でないから, $\int_k^{k+1} f(x) dx > \int_k^{k+1} f(k+1) dx$ が成り立つ。

証明

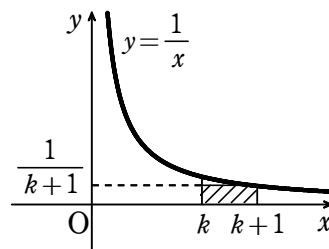
自然数 k に対して, $k \leq x \leq k+1$ では

$$\frac{1}{x} \geq \frac{1}{k+1}$$

常には $\frac{1}{x} = \frac{1}{k+1}$ でないから

$$\int_k^{k+1} \frac{1}{x} dx > \int_k^{k+1} \frac{1}{k+1} dx$$

隙間の分だけ差がある



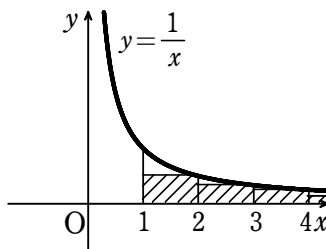
すなわち

$$\int_k^{k+1} \frac{dx}{x} > \frac{1}{k+1}$$

$$\int_k^{k+1} \frac{1}{k+1} dx = \frac{1}{k+1} \int_k^{k+1} dx$$

$$= \frac{1}{k+1} [x]_k^{k+1} = \frac{1}{k+1} (k+1 - k) = \frac{1}{k+1}$$

$k=1, 2, 3, \dots, n-1$ として, 辺々を加えると



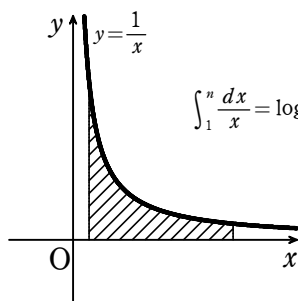
$$\int_1^2 \frac{dx}{x} + \int_2^3 \frac{dx}{x} + \int_3^4 \frac{dx}{x} + \cdots + \int_{n-1}^n \frac{dx}{x} > \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{n}$$

ここで 左辺 $= \int_1^n \frac{dx}{x} = [\log|x|]_1^n = \log n - \log 1 = \log n$

$\log 1 = 0$

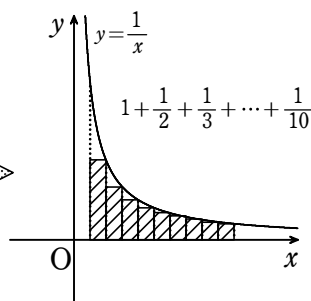
よって $\log n > \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{n}$

補足



$$\int_1^n \frac{dx}{x} = \log n$$

隙間の分だけ差がある



$$1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \cdots + \frac{1}{10}$$